

石下地区中心市街地の活性化について

吉原 光夫 議員

質問

石下駅中沼線は、総事業費66億8千万円という莫大な予算をかけた県の事業であり、10年目にして橋の部分がやっと完成した。結果、長年の交通渋滞が解消し、同時に西部地区の住民からは駅が近くなったという喜びの声がある。しかしながら、この事業はこれで終わりではないはずである。この道路を駅まで完成させること、そしてその先は市の事業として鉄道を越え、駅東地区の道路に接続し、これにより、旧市街地と東側の大型商店区や行政区とが結ばれ、一体感を構築することが、石下地区中心市街地の発展につながると考える。また、旧石下町役場の跡地利用も含めて考えるべきである。周辺も含めると1万㎡以上の土地があり、非常に高い利用価値がある。この件に関しては、私は今まで4回ほど質問をしては、最終的には、地域住民の意見を聞きながら進めていくということであったが、その後、2回にわたるまちづ

くり懇談会が開かれ、その中で、ほとんどの市民の意見、要望が私の質問内容と同様のものと感じたが、はつきりとした市の見解を伺う。

答弁(都市建設部長)

今後、専門分野の学識経験者を募り、24年度には市民参加型の検討委員会を組織し、要望、課題等について検討した上、社会資本整備総合交付金等、国の補助制度を活用することや、事業の実現可能性も検討し、計画設計案をつくり、実現に向けて努力していく。

再質問

市長は、これからの石下地区市街地活性化をどう考



えているか伺う。

再答弁(市長)

中心市街地の活性化については急いでほしいとのご意見がたくさんある。道路を一本作ると言う事ではなく、面として考えていく。住民の皆さんが自分達のまちを、商店街をどうするかといった意見をまとめたな

常総市職員の配置について

風野 芳之 議員

質問

①今年度、ベテラン職員が50名余り退職すると聞いている。反面、新採職員は10数名であろうと思うが、ベテランが抜けてきた穴を、どのようにカバーしていくのか伺う。また、来年、再来年と、大量退職が続くようだが、その人数はどの程度か伺う。②現時点での臨時職員の総数及び契約方法を伺う。③各課、どの程度の人員配置で、しっかりとした住民サービスができるかといった基本が有ると考えるが、どういった打ち合わせの中で決めていくのか伺う。④職員の人件費及び給与等概要を伺う。⑤合併当初、水海道市・石下町職員間の給与格差があった。

ら、財源についても検討を始めたところである。

再々質問

この件については、長年の懸案事項であり市民も非常に期待しているので、よろしく願います。

(その他の質問)

○常総市農業の振興について  
○十一面山について

現在の状況を伺う。

また、旧石下町時代であった昇任昇格試験制度の結果による評価については現在、評価基準の参考としているか否かについて伺う。

答弁(総務部長)

①今後3年間で79名が予定。今年度は54名が退職し、新規採用は34名で20名の減少。業務委託や事業の見直しで、適正な定員管理に努める。②329名で、雇用期間は6ヶ月。必要に応じて期間の更新をしている。③作業時間実績と年間見込みに基づきヒアリングを実施、必要人員を決定している。④平成22年度の人件費は27億8369万6千円である。職員給与等については、公表の責務により周知してい

る。⑤平成22年より調整し、平成24年までに92名が調整済み。平成25年には10名の調整をし、これにより格差が解消される。昇級試験は加味していない。

再質問

①臨時職員には、中途採用の道は開けないか。②必要人員の決定については、各課の要望どおりか、あるいは、予算を組んで検討しているのか。③広報紙の中の人件費に臨時職員が含まれないとのことであるが、分かりやすい公表を検討願う。

再答弁(総務部長)

①正規の採用試験により、採用がある②要望を聞き、事務量を判断し、割り振りしている。③分かりやすい内容にしてい

再々質問

採用試験は新採のみを確認する。また、総人件費を伺う。

再々答弁(総務部長)

採用試験は、臨時職員にもある。総人件費は、22年度決算で49億6千万弱である。

(その他の質問)

○サッカー場の新設について